

読書活動推進NEWS

学校司書としての幅広い活動 ～只見町立只見小学校～

7月5日(水)に只見小学校を訪問し、学校司書として町内3つの小学校を兼務しながら活動されている齋藤エミさんの業務の様子取材しました。当日は図書コーナーの作成だけでなく、低学年国語科授業への参加、全校読み聞かせなど、幅広い活動の様子を見ることができました。



【児童昇降口前の図書コーナー】

全児童が毎日必ず通るこの場所に特設コーナーを設置しています。さあ、これから模様替えです！



【「この夏のオススメ」にチェンジ!】

怪談本、家で過ごす時間が増えるため料理本、秋の只見線イベントに向けた鉄道本…。この夏にオススメの本がぎっしりと集められました。



【様々な工夫】

図書室には本だけでなく思わず笑顔になるような展示物もありました。学習の場としてだけでなく、居心地のよい空間も兼ね備えていました。

国語科授業への協力



【2年生】

お気に入りの本を紹介し合う内容でした。途中まで読んで紹介した齋藤さんの本の続きが気になると発言する児童や、自分が気に入った本を私たちにも紹介してくれる児童の姿が見られました。



【1年生】

「としょかんとなかよし」の授業では、児童が齋藤さんから図書館の使い方や約束等の基本的な内容について学びました。本の探し方のコツをつかんだ2名の1年生は、借りる気満々の様子でした。



【給食時の全校読み聞かせ】

無言給食の時間帯に合わせての読み聞かせです。齋藤さんの声に耳を傾けながら給食を味わう児童と先生方の姿が見られました。



【サポートティーチャーとの連携】

協力、分担しながら限られた時間の中での作業です。本は見た目以上に重く、重労働です。この日は蒸し暑く、大汗の作業でした。

只見小学校では、低学年の国語科において担任と学校司書が連携したステキな授業の様子を見ることができました。2つの学年で共通していたのは読書意欲が高まった児童の生き生きとした姿です。担任の先生に話を伺うと、「只見小学校では、教育課程の単元指導計画の中に学校司書との連携をきちんと明記して実践しています。」と話してくださいました。今回の取材を通して、学校司書が小学校の読書活動を幅広く支援する様子を見ることができました。